

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	55 遺伝子発現プロファイリングを用いた新規サブタイプ分類(55 gene classifier; 55GC)と RAS ファミリー遺伝子変異による Stage および Stage III 大腸癌の再発予測に関する研究
	研究目的	本研究は、保存 FFPE 検体を用いた国内の後ろ向き多施設観察研究として、手術単独の Stage II および術後補助化学療法を施行された Stage III 大腸癌を対象に、55GC によるサブタイプ分類と RAS ファミリー遺伝子変異に基づいた新規診断法の再発予測性能を検証する。
	研究期間	西暦 2017 年 5 月 11 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	塩澤 学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	防衛医科大学校 外科学講座 主任教授 長谷 和生